

# TSUDOI

## スタンダードプラン 月次分析レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

### 本レポートコンテンツ

#### ◆TOP銘柄分析ガイド

TSUDOIで集計・分析する、複数の有名格付け機関によるスコア評価

#### ◆『狙い目：中堅銘柄』発掘ガイド

仮想通貨業界全体のトレンド銘柄分析

#### ◆『大穴：新規銘柄』発掘ガイド

VC出資先分析に基づく、注目新規銘柄情報、CMC新規リスト銘柄分析

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。



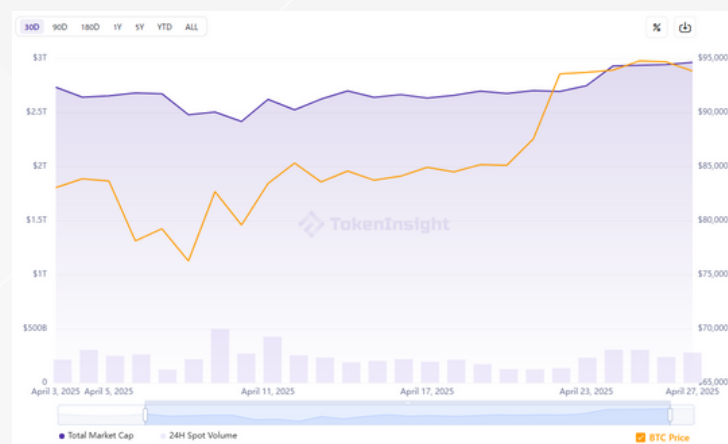
有料  
レポート

# 2025年3月末～2025年4月末 仮想通貨業界市場動向

## ◆ 業界全体の時価総額 推移

2025年4月1日～4月28日の仮想通貨市場は、ビットコイン主導で反発基調が強まりました。時価総額は約2.65兆 USD (約378兆円) から約2.97兆 USD (約424兆円) へ **+12.1% 拡大**。

基軸通貨であるビットコイン (BTC) の価格は、4月1日の85,224.83ドルから4月28日の95,082.88ドルへ反発し、**+11.6%の上昇**となりました。右図 Coinglass の月次ヒートマップによれば、2025年4月の月間変動率は +14.99% に達しており、2月の大幅調整 (-17.39%) と3月の小幅下落 (-2.30%) を取り戻す形で**強い回復基調**を示しています。

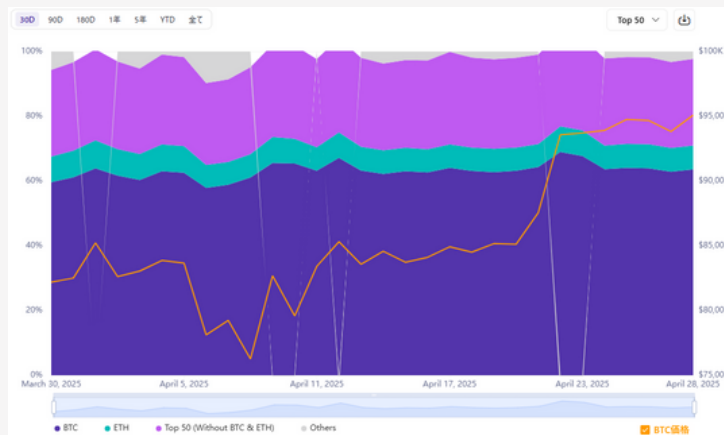


Bitcoin Monthly returns

※TokenInsight調べ

時間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2025	+9.29%	-17.39%	-2.30%	+14.99%								
2024	+0.42%	+43.55%	+16.81%	-14.76%	+11.07%	-6.96%	+2.95%	-8.4%	+7.29%	+10.76%	+37.29%	-2.85%
2023	+39.63%	+0.03%	+22.94%	+2.81%	-6.98%	+11.98%	-6.02%	-11.29%	+3.91%	+28.52%	+8.81%	+12.18%
2022	-16.68%	+12.21%	+5.39%	-17.3%	-15.6%	-37.28%	+16.8%	-13.88%	-3.12%	+5.56%	-16.23%	-3.59%
2021	+14.51%	+36.78%	+29.84%	-1.98%	-35.31%	-5.95%	+18.19%	+13.8%	-7.63%	+39.92%	-7.11%	-18.9%
2020	+29.95%	-8.6%	-24.92%	+34.26%	+9.51%	-3.18%	+24.03%	+2.83%	-7.51%	+27.7%	+42.95%	+46.92%
2019	-8.59%	+11.14%	+7.05%	+34.36%	+52.38%	+26.67%	-6.59%	-4.6%	-13.38%	+10.17%	-17.27%	-5.15%
2018	-25.41%	+0.47%	-32.85%	+33.43%	-18.99%	-14.62%	+20.96%	-9.27%	-5.58%	-3.83%	-36.57%	-5.15%
2017	-0.04%	+23.07%	-9.05%	+32.71%	+52.71%	+10.45%	+17.92%	+65.32%	-7.44%	+47.81%	+53.48%	+38.89%
2016	-14.83%	+20.08%	-5.35%	+7.27%	+18.78%	+27.14%	-7.67%	-7.49%	+6.04%	+14.71%	+5.42%	+30.8%
2015	-33.05%	+18.42%	-4.38%	-3.48%	-3.17%	+15.19%	-8.2%	-18.67%	+2.35%	+33.49%	+19.27%	+13.82%

※coinglass調べ



## ◆ ドミナンス推移

2025年4月1日から4月28日までの仮想通貨市場におけるBTC・ETH・Top 50 (BTCとETHを除く)・その他通貨の市場支配率の推移を要約します。

ビットコイン (BTC) の市場支配率は、4月1日の63.88% から始まり、4月22日には今月の最高値となる68.97% へと上昇。また、BTC&ETHを除くTop 50位のアルトコインの比率は、月初28.11% から月末には19.89% まで低下し、**BTCへの資金の流入が中堅銘柄への流入を上回っていることがうかがえます。**

4月時点でETHの市場占有率はおおむね7～9% で推移し、**ETHのドミナンスは前月比でやや縮小傾向**となりました。一方、Top 50以降の小型アルトコインは、中旬まで1～3%台と低空飛行でしたが、**月後半にかけて9%前後まで流入が拡大する場面が散発的に見られ、テーマ銘柄への短期資金流入が確認されています。**

全体としては、**BTCが一段と資金を吸収**して支配率を高める一方で、中堅アルトは調整色が強まり、投資家がリスク選好を抑えて「より安全」と見なされる主要通貨へ資金を集中させている状況が続いていると考えられます。

日付	BTC市場割合	ETH市場割合	Top 10市場割合 BTC & ETHを除く	その他
2025-4-01	63.88%	8.69%	28.11%	0.68%
2025-4-22	<b>68.97%</b>	7.88%	21.67%	1.48%
2025-4-27	62.88%	7.31%	19.83%	<b>9.98%</b>
2025-4-28	63.60%	7.32%	19.89%	9.18%

※TokenInsight調べ

※大幅な変動がある場合、取得データの遅延や不一致がある可能性があります。

# TSUDOIポートフォリオ 銘柄の解説

2025年1月より新規コンテンツとしてスタートしたTSUDOIポートフォリオ銘柄については、過去に本分析レポートにてGoodマークを付与した銘柄から選出しております。本コンテンツでは、ポートフォリオに選定、保有し続ける理由についての解説を行っています。

## 各種注目ポイント(4月末時点)

### XRP (上方修正)

SEC訴訟収束とHidden Road買収で機関決済網が急拡大◎。先物ETF観測とRLUSD拡販で実需増へ。だが毎月10億XRP放出と高PERで需給懸念▲。CME先物はヘッジ売り圧力に注意。長期目線で配分調整を。

### Dogecoin (フラット)

現物ETF申請で制度資金流入期待◎。Libdogecoin更新とマイニング企業上場で基盤強化。ただ開発停滞とマスク依存の高ボラ▲。上限供給なしでインフレ傾向。短期投機枠に留め慎重に。

### Cardano (フラット)

Ouroboros Perasで取引確定期間2分へ◎。産学連携も進み研究開発は順調。一方TVL3億ドル台と流動性不足▲。取引所上場制限や規制不透明で資金流入鈍い。技術力と実利用のギャップ解消待ち、段階的積み増し推奨。

### Hedera (フラット)

Chainlink CCIP統合とTokeny提携でRWA発行即時化◎。理事会USD補填策でノード安定。だがCouncil集中と基金売却圧で中央集権批判▲。供給管理と分散性拡大が鍵。相互運用性強み活かし慎重に段階参入。

### Chainlink (上方修正)

CCIP採用拡大でクロスチェーン標準化◎。Data Streamsで収益多角化。一方Staking v2遅延と年5%インフレが売圧▲。Pyth等低コスト競合も台頭。経済モデル改訂注視。

### Aave (上方修正)

収益でAAVE買い戻し開始◎。希薄化抑制と価格支援。GHO利付案やRLUSD上場でステーブル需要拡大しRWA市場も準備中。だが清算多発とスマコン複雑化で技術・規制リスク▲。収益成長が続くか要監視。

### Ondo (上方修正)

MastercardやCopper連携で国債トークン実需が一段増◎。SECと協議し規制適合へ前進。反面、証券扱いなら高コスト▲。26年以降の大型アンロックが潜在売り圧。政策ヘッドラインで値動き大、ポジション調整要。

#### Litecoin (フラット)

ETF審査は5/13に再延期され材料一服▲。対照的にMWEB(プライバシーとスケーラビリティを向上させる技術)導入2周年で匿名送金件数が過去最高を更新◎。ETF進展待ちで静観。

#### Solana (上方修正)

カナダ現物SOL ETF上場とUSDC発行量急増で実需拡大◎。DePIN・GameFi資金流入で4月TVLが月次+18%。一方、meme熱の沈静化はあったものの、DEX取引量は高水準で増加傾向◎。好材料が多いため、リスク許容度に応じてポジション追加を検討。

#### Sui (上方修正)

Grayscale SUI Trust設立と21Shares ETF登録、xPortal×Mastercard決済で実需拡大◎。TVL直近1カ月およそ+50%、機関マネー流入継続。取引高も安定して3Bドル帯維持◎。一方、大型アンロック目前で供給増リスク▲。成長トレンドは強固。

#### Aerodrome Finance (フラット)

Base上TVL首位を維持し4月報酬APY上昇で流動性回復◎。一方、veAERO ガバナンス報酬自動化とFlash-Trade 機能のv2 ローンチが5月に延期▲。

#### Morpho (上方修正)

機関向け貸借「Morpho Blue」稼働でTVL35億 USD突破◎。CoinbaseのBTC担保ローン実装で信用力向上。4/9 UI障害は即日復旧▲。5月に流通量+3%の解除あるも需要超過。

#### Ethena (フラット)

BaFin命令でEUより事業撤退▲。一方、BVI再編後にWLF1など米DeFiへ統合拡大◎。USDe時価総額48億ドルを維持も、利回りはFunding低下で5%前後に縮小。EU発行停止により米市場の拡大余地が相殺。中長期は規制進捗を注視し段階的に評価。

#### Bittensor (上方修正)

dTAOアップグレードで処理性能と分散性を両立◎。年末200超サブネット拡張&“AI-as-a-Service”基盤を構築するYuma統合で資本と採用が流入◎。課題はサブネット質とTAO需給の持続性、競合AIチェーン増加▲。

#### Lido DAO (フラット)

v3テストネット開始でL2対応と手数料削減◎。stETH供給は過去最高更新。収益分配モデル未確定でLDO実需希薄▲。SECのETHステーキング規制動向も不透明。技術進展を見守りながら現状維持が無難。

## 選定のポイント

下記環境下で、トランプ政権の恩恵を受けやすい銘柄を中心に選定している。

トランプ政権がBTC準備金を検討することで、国家によるBTCの公式認識が進み、市場の信頼が高まる可能性がある。これにより、BTCは長期的な価値保存手段として確立され、投資家のポートフォリオでの地位が強化される。既に多くの金融機関がBTCを採用し、政権の政策がこれを後押しする見込みだ。さらに、規制緩和や政府支援により、ブロックチェーン技術の社会実装が加速し、金融市場を中心に多様な分野での応用が期待される。今後も基軸通貨であるBTC価格が上昇傾向に向かえば、米国中心に政策の恩恵を受ける他の銘柄の需要も拡大する見込みだ。

# GOODマーク付き銘柄 2025年 4月集計結果

## トップ銘柄 分析ガイド 4/30












一般に、BTCの価格が下がる際には、アルトコインはBTCよりも大きく値下がりすることが多いです。これはアルトコインのリスクが高いことを意味します。しかし、市場が上昇する時には、アルトコインはBTCを上回る値上がりを見せることがあります。このため、BTCが下落している時にアルトコインのパフォーマンスを月単位で評価すると、成績が悪く見えることがあります。

4月1週目~4月4週目までの週次レポートにて選定された12つのTOP銘柄の中から7つのTOP銘柄にGoodマークを付与いたしました。

※この評価は、基本的に毎週金曜日に配信される週次レポート作成時または、月次レポート作成時に、過去に配信された銘柄の価格動向を記録した情報を基に行われます。銘柄の中では、同じ銘柄が含まれていることがあります。

今月はおよそ1カ月を通して、**BTC価格**がおよそ11.6%上昇しており、12つのTOP銘柄の選定を行い7銘柄にGoodマークを付与しております。結果として5銘柄が価格高騰を経験し、**5銘柄がBTC価格の推移よりも高パフォーマンス**を出しています。

## TSUDOI分析レポート マーク銘柄一覧

レポート 配信日付	プロジェクト	上昇率	レポート 配信日付	プロジェクト	上昇率
4/4	 <b>Toncoin</b>	-3.71%	4/18	 <b>Solana</b>	12.85% 
4/11	 <b>MANTRA</b>	-91.93%	4/18	 <b>Hedera</b>	18.91% 
4/11	 <b>Aave</b>	31.42% 	4/25	 <b>Sui</b>	3.31% 
4/11	 <b>Ethena</b>	21.92% 			

『★』マークは、同時期のBTC価格の増減と比べ高いパフォーマンスを出していた銘柄に付与しています。




# GOODマーク付き銘柄 2025年 4月集計結果

## 『狙い目：中堅・大穴：新規銘柄』 発掘ガイド 4/30

4月1週目～4月4週目までの週次レポートにて、12つの狙い目：中堅銘柄、1つの大穴：新規銘柄を詳細に分析しました。

※この評価は、毎週金曜日に配信される週次レポート作成時、または月次レポート作成時に、過去に配信された銘柄の価格動向を記録した情報を基に行われます。

『狙い目：中堅』に掲載した銘柄12つ、『大穴：新規銘柄』に掲載した1銘柄の中から、TSUDOIチームでは3銘柄、中長期的な成長の可能性があるを持つと判断し『👍』を付与しております。また、**3銘柄中3銘柄が、BTC価格の推移よりも高パフォーマンスを出しております。**

レポート 配信日付	プロジェクト	上昇率
4/4	 <b>Saros</b>	13.62% 🌟
4/18	 <b>Helium</b>	27.45% 🌟
4/25	 <b>Stacks</b>	4.56% 🌟

『🌟』マークは、同時期のBTC価格の増減と比べ高いパフォーマンスを出していた銘柄に付与しています。
















# 4月週次レポート掲載 TOP銘柄 継続分析ガイド

## トップ銘柄 分析ガイド 4/30





この分析ガイドでは、4月の週次レポートにて記載された価格が急上昇したTOP銘柄に焦点を当てています。それぞれの銘柄について、レポート掲載時から月末までの時価総額ランキングの推移や、複数の海外格付けサイトの情報を基にしたTSUDOI独自の評価を紹介しています。これらの通貨は、100点満点での信頼性スコアとして、下記一覧の右側に記載されています。

### TSUDOI週次分析レポート掲載銘柄一覧

※2024年9月より評価方法を一部変更しております。

配信日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリ	直近30日間の値上がり率	トークン価格 (4/30現在)	スコア (4/25現在)
4/4	#9→#10	 <b>TRON</b>	Layer1	▲5.00%	¥34.76	68.26(+6.29)
4/4	#11→#16	 <b>Toncoin</b> 	Layer1	▼17.84%	¥456.11	64.46(-0.07)
4/4	#15→#13	 <b>Avalanche</b>	Layer1	▲15.19%	¥3,084.68	72.79(-0.05)
4/11	#19→#118	 <b>MANTRA</b> 	Layer1	▼92.04%	¥70.45	—
4/11	#39→#39	 <b>Aave</b> 	Lending & Borrowing	▲1.37%	¥23,511.99	71.95(+0.11)
4/11	#48→#48	 <b>Ethena</b> 	Stablecoin Protocol	▼15.52%	¥44.46	61.30(-)
4/18	#6→#6	 <b>Solana</b> 	Layer1	▲16.94%	¥20,828.08	74.06(-1.08)
4/18	#17→#11	 <b>Sui</b>	Layer1	▲53.73%	¥505.73	70.62(+1.99)
4/18	#18→#	 <b>Hedera</b> 	Layer1	▲13.62%	¥26.65	67.43(-0.06)



4/25	#11→#11	 <b>Sui</b> 	Layer1	▲53.73%	¥505.73	70.62(+1.99)
4/25	#43→#41	 <b>Polygon</b>	Layer2	▲14.69%	¥33.46	62.09(+0.66)
4/25	#44→#43	 <b>Render</b>	DePIN	▲29.55%	¥638.05	57.94(+0.13)

## 月次レポート及び、週次レポートの使い方について

今月の週次レポートにおけるGoodマークが付与されたTOP銘柄にて、これらの銘柄が、**なぜ話題を集めているかを月次及び週次レポートの考察をご覧ください、投資家の皆様がより深く理解するための分析情報として**レポートを配信させていただいております。

## トップ銘柄 スコア調査ガイド

スコア調査ガイドでは、海外の様々な格付けサイトから情報を集めて、TOP銘柄を評価しています。これらの格付けサイトは、プロジェクトの進行計画と現状、トークンの経済的側面、プロジェクトチーム、ビジネスパートナーや投資家、エコシステムの成長、トークンの市場パフォーマンス、技術基盤とセキュリティ、全体的な市場での成績、技術の採用状況など、多面的な観点からの情報を提供しています。

TSUDOIのスコアは、これらのサイトから収集した情報を元に、各プロジェクトの全体的な強みとリスクを評価し、100点満点でスコアを付けます。このスコアを前月のデータと比較し、総合的な評価を行っています。**※2024年9月より評価方法を一部変更しております。**

### スコアの読み方

トップ銘柄の仮想通貨は、このスコアが安定しており、**4点以上の大きな変動がある場合は、そのプロジェクトの健全性を再評価する指標**として使っていただければと考えています。

### 4月の時価総額TOP50銘柄の本スコア推移

上記の基準にて4月の調査を行ったところ、今月に入り**+4以上スコアが上昇**した銘柄はTRON、**-4以上のスコア**を落とした銘柄はありませんでした。

## オンチェーン&オフチェーン分析ガイド

Goodマークが付与されたトップ銘柄の中で、特に特徴的なデータが確認できたものについて、直近1ヶ月間のTVL、ステーキング、Xフォロワーの増減など、さまざまなデータをもとに分析・考察した情報をご提供しています。

Hederaでは、3月中旬に約3,000万ドルだったステーブル残高が4月末に約1億2,900万ドルへ急増（約4倍）。**機関投資家に好まれやすいUSDC主体の実需流入が背景で、手数料収入も週次で緩やかに上向きつつある。**

今後はレンディングやDEXなどDeFi基盤の拡充がどこまで追隨するかが焦点。TVL面ではHyperliquidが+126%、Suiが+46%と資本回転効率の高さで市場を牽引し、“量”から“効率”へ評価軸が移行しつつある。ただし絶対額は依然小規模で、単一プロジェクト依存のリスクにも注意が必要。



# 4月週次レポート掲載 中堅銘柄 継続分析ガイド





## 『狙い目：中堅銘柄』 発掘ガイド 4/30

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）の時価総額ランキング50～400位に位置する『狙い目：中堅銘柄』に焦点をあてた情報を提供するものです。週次レポートに記載いたしましたCMCサイト内、検索トレンド中堅銘柄に関する月末時点での経過調査となります。

### 週次 検索トレンドの経過調査一覧

作成日4/30

配信日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	直近1カ月の トークン価格上昇率
4/4	#57→#65	 <u>DeXe</u>	DAO	▼26.13%
4/4	#230→#259	 <u>Saros</u> 	DEX	▲68.65%
4/4	#328→#359	 <u>Venus</u>	Lending & Borrowing	▲4.40%
4/11	#91→#97	 <u>Pancake Swap</u>	DEX	▲1.39%
4/11	#95→#110	 <u>Pendle</u>	Yield	▲30.95%
4/11	#118→#95	 <u>Solayer</u>	Restaking	▲108.21%
4/18	#68→#67	 <u>Sei</u>	Layer1	▲20.31%
4/18	#78→#76	 <u>Raydium</u>	DEX	▲63.19%
4/18	#84→#91	 <u>Helium</u> 	DePin	▲21.65%

4/25	#58→#59		<b>Maker</b>	Lending	▲17.59%
4/25	#60→#61		<b>Stacks</b> 	Bitcoin Ecosystem	▲33.37%
4/25	#70→#70		<b>Injective</b>	Layer1	▲9.01%

上記『狙い目：中堅銘柄』に関する最新のトークン価格への影響が予想される話題についての調査結果をPick Up!!

### Saros : SAROS

#### 注目ポイント：成長加速も、トークン需要拡大はまだ途上

SarosはSolana上でDLMM v3導入とステーキング開始を発表(4/24)し、流動性向上とエンゲージメント強化を図る。5月中旬にv3ベータ版リリース、5月末からステーキング拡大が見込まれるが、現状では外部資金を大規模に呼び込む決定打には乏しい。夏までに新規提携や話題性を得られるかが、トークン需要本格化のカギとなる。

### Helium : HNT(継続Good)

#### 注目ポイント：AT&T提携で「実需ドリブン」の需要急拡大へ

Heliumは米大手AT&Tと提携し、実需拡大路線を明確化。5月以降、AT&T経由のユーザー増加がHNTなどトークン需要を押し上げる見込み。SEC訴訟和解により規制リスクも後退し、今後他キャリアとの追加提携や北米以外市場展開が加速すれば、2025年夏～年末にかけてさらなる需要増が期待できる。

### Stacks : STX(継続Good)

#### 注目ポイント：BTC資本流入基盤完成、年末に向けて需要拡大へ

StacksはsBTCの出金機能を4月末に解禁、BitGo統合も実現し、BTC資本流入の受け皿を整えた。5～6月にかけてsBTC流通とDeFi活性化が進む見込みで、これに伴いSTXトークンのロック需要が上昇するシナリオ。主要取引所上場やステーブルコイン導入も予定されており、年末に向け需給改善が加速しそうだ。




# 有名VCによる 資金調達最新情報分析

## 『大穴：新規銘柄』 発掘ガイド 4/30

2025年3月25日～4月30日までの期間において、仮想通貨業界における大手ベンチャーキャピタル(VC)の出資実績を詳細に調査し、大穴：新規銘柄を分析します。

今月の主な業界の資金調達プロジェクト数は65社となり、大手VCからの出資を受けたプロジェクトは18社となります。下記は、大手VCから出資を受けた銘柄の中でTSUDOIスタッフが注目する3つのプロジェクトとなります。

※大手VCについては投資資金の大きいTOP20を対象としております。

プロジェクト名	カテゴリー	調達ラウンド	金額	大手VC一覧	融資日	注目度 (3点満点中の評価)
 <b>Chronicle</b>	Oracles	シードラウンド	\$12.00M	<a href="#">strobei</a> <a href="#">galaxy</a> <a href="#">etc...</a>	2025年 3/25	事業モデル ★★★(3.0) メンバー ★★☆☆(2.5)
 <b>Meanwhile</b>	Insurance	シリーズA	\$40.00M	<a href="#">Framework</a> <a href="#">Fulgur</a> <a href="#">etc...</a>	2025年 4/10	事業モデル ★★(2.0) メンバー ★★☆☆(2.5)
 <b>Blackbird</b>	dApp	シリーズB	\$50.00M	<a href="#">Spark Capital</a> <a href="#">Andreessen Horowitz</a> <a href="#">etc...</a>	2025年 4/8	事業モデル ★★(2.0) メンバー ★★★(3.0)

### 4月の資金調達事情について

今月のブロックチェーン業界では、資金調達総額が執筆現在12億3,000万ドル（約1,844億円）を記録。3月の38億8,000万ドル（約5,817億円）と比較すると、調達額は減少しましたが、資金調達件数は依然として活発であり、投資活動が堅調に推移していることがうかがえます。

4月の投資比率では、Infrastructure（34.0%）が最も高く、続いてOthers（30.2%）、DeFi（18.9%）、Web3（15.1%）となりました。特にインフラストラクチャー分野が引き続き投資家の関心を集めており、市場を支える基盤技術の開発や改善に資金が集中しています。また、「Others」カテゴリーも多様なプロジェクトが集まり、業界の多角的なイノベーションが継続していることを示しています。今後も広範な領域で新たな取り組みが展開され、市場全体のさらなる成長が期待されます。

# Chronicle Protocol

分野：Oracles

◆ トークン未発行

LED BY **Chronicle**

RAISED: **\$12M**

Seed

Chronicle is a data infrastructure provider focused on tokenized assets.

PARTICIPATION FROM

galaxy Robot Ventures 6MV

BREVAN HOWARD

FENBUSHI CAPITAL Gnosis TIIGA CAPITAL PARTNERS

ANGELS

Stani Kulechov Andre Cronje Rune Christensen

Mark Phillips (AES)

CryptoRank.io/Funding-Rounds CryptoRank\_VCs CryptoRank\_Fundraising cryptorank

## 01. 概要 信頼できるデータの架け橋『Chronicle』👍

Chronicleとは、ブロックチェーン上に正確な外部データを安全に届ける「オラクル」という仕組みを提供するプロジェクトです。特定のブロックチェーンに限定されない柔軟な設計で、拡張性（利用が増えても性能が落ちないこと）、低コスト、透明性に優れたオラクルを実現しています。2017年以降、分散型金融（DeFi）を代表するMakerDAOの約200億ドルに及ぶ資産の安全を支えてきた実績を持ち、イーサリアム初のオラクル開発という業界の先駆者でもあります。また、不動産や株式といった現実世界の資産（RWA）のデータをブロックチェーンに取り込むサービス「Verified Asset」も提供しています。

## 02. 運営メンバー

Founder：Niklas Kunkel氏

Niklas Kunkel氏は、Chronicle Labsの創業者で、スイスのツークを拠点に、2022年から分散型金融（DeFi）の基盤となるオラクル（外部データをブロックチェーンに伝える仕組み）を開発しています。以前はMakerDAOで約5年間オラクルやバックエンド部門を主導し、イーサリアム上の分散型ステーブルコイン「Dai」の開発をはじめ、分散型取引所OasisDex、業界標準のDs-Proxyなどを手掛けました。さらにIBMではHyperLedger Fabricを使ったブロックチェーン開発にも携わり、幅広い技術経験を持っています。

### リサーチ担当のコメント

事業モデル ★★★(3.0)

Chronicleはブロックチェーンに不可欠なオラクル（外部データを提供する仕組み）を開発し、特に分散型金融（DeFi）や実世界資産（RWA）のオンチェーン化を強力にサポートしています。MakerDAOなどDeFi業界の中心的プロジェクトで採用されるなど実績・信頼性ともに高く、特定のチェーンに依存しない柔軟性も評価できます。汎用性が高く、今後さらなる市場シェア拡大が期待できます。

メンバー ★★☆(2.5)

創業者Niklas Kunkel氏はMakerDAOにおけるオラクル開発の中心人物であり、Ethereum初の分散型ステーブルコインDaiの構築など、多くの成功実績を持つエンジニアです。さらにIBMでの企業向けブロックチェーン開発経験もあり、技術力・業界での評価ともに非常に高く、プロジェクト推進において強力なリーダーシップが期待できます。

# Meanwhile

分野：Insurance

◆ トークン未発行

meanwhile

LED BY

Framework

RAISED: \$40M Series A Round

Meanwhile offers the first life insurance policy denominated in Bitcoin.

ANGELS Wences Casares

CryptoRank.io/Funding-Rounds CryptoRank\_VCs CryptoRank\_Fundraising cryptorank

## 01. 概要 ビットコインを生命保険に活かす『Meanwhile』

Meanwhileとは、世界初のビットコイン建て生命保険を提供するプロジェクトです。生命保険という伝統的な金融商品の安全性を維持しながら、仮想通貨として人気が高まるビットコインならではの資産価値も同時に活用できます。保険料はBitcoinで支払われ、死亡時には受益者にBitcoinで保険金が支払われます。また、契約開始から2年後には保険価値の90%までをBitcoinで借りることができ、この借入は税金の影響を受けません。これはBitcoinの価値上昇を活用し、税制上のメリットを得る仕組みです。

## 02. 運営メンバー

Founder兼CEO：Zac Townsend氏、CIO：Jim Cristallo氏

Meanwhileの経営陣には金融・保険業界に精通したメンバーが揃っています。CEOのZachary Townsend氏は、世界的に有名な経営コンサルティング企業『McKinsey』のアソシエイトパートナーやカリフォルニア州のチーフデータオフィサーを歴任。金融サービスや公共分野でデータを活用した事業開発に多くの実績を持ちます。また、CIOのJim Cristallo氏は、米国大手保険会社であるNew York Lifeで20年近く要職を務め、生命保険商品の開発・運営責任者として豊富な経験を積んできました。両者とも業界経験が深く、信頼性の高い経営陣と評価できます。

### リサーチ担当のコメント

事業モデル ★★(2.0)

Meanwhileはビットコイン建ての生命保険という独自の市場を創出し、伝統的な生命保険と仮想通貨を融合させています。仮想通貨ユーザーに特化したユニークなサービスで市場の注目を集めていますが実際に保険契約者を増やすためには、仮想通貨保有者に対する具体的なメリットや資産運用の優位性をいかに訴求できるかが今後の普及と市場定着の鍵となるでしょう。

メンバー ★★☆(2.5)

CEOのZachary Townsend氏はMcKinseyや米カリフォルニア州でデータ活用プロジェクトを牽引した実績があり、CIOのJim Cristallo氏はNew York Lifeで生命保険事業を長年統括した専門家です。事業推進力と保険業界への専門性を併せ持つ信頼性の高い経営陣と評価できます。一方で、独自トークンの発行を検討する場合、現在の経営陣には課題がありそうです。

# Blackbird

分野：dApp

◆トークン未発行

LED BY **SPARK CAPITAL**

PARTICIPATION FROM **andreesen horowitz** | **coinbase** Ventures

**USV** Union Ventures Square | **AM EX** VENTURES

RAISED: **\$50M**  
Series B

Blackbird Labs is a loyalty, memberships, and payments platform.

CryptoRank.io/Funding-Rounds | CryptoRank\_VCs | CryptoRank\_Fundraising | cryptorank

## 01. 概要 店舗限定の仮想通貨が貯まる『Blackbird』

Blackbirdとは、飲食店とその顧客を直接つなぐための会員制・ポイント・決済を一体化したプラットフォームです。レストランでスマホを専用のNFCリーダー（近距離無線通信の読み取り装置）にかざすだけで、会員証となるNFT（ブロックチェーン上で唯一性を持つデジタル証明書）が作成されます。さらに、Web3企業Privyとの提携により、電話番号だけで簡単に仮想通貨ウォレットを作成可能です。顧客はレストランへの訪問でFLYという独自の仮想通貨のポイントを貯め、それを割引や特別メニュー、限定イベントなどの特典と交換できる仕組みです。投資家にはa16zやCoinbaseが含まれ、合計8500万ドル（約130億円）を達成。1000以上のレストランと提携済み。

## 02. 運営メンバー

**Founder兼CEO：Ben Leventhal氏、**

**VP, Business Operations & GTM：Maura McCagh氏**

Blackbirdのチームメンバーは事業開発に精通しています。Founder兼CEOのBen Leventhal氏は、飲食業界向け予約サービス「Resy」を共同創業し、American Expressへの売却経験があります。飲食系メディア「Eater」の共同創業者としても知られ、飲食業界に幅広いネットワークを持っています。VPのMaura McCagh氏は、Coinbaseでの事業運営や戦略策定を担当。Deutsche BankのディレクターやMonitor Deloitteの戦略マネージャーなど、金融・経営戦略に強みを持つ人材です。

### リサーチ担当のコメント

事業モデル ★★(2.0)

Blackbirdは、レストランの顧客向けに、スマホから簡単にNFT（デジタル会員証）を発行し、店舗独自の仮想通貨をポイントとして提供することで顧客ロイヤリティ向上を目指しています。一般顧客にとっての利便性や明確なメリットが今後の普及と定着を左右するでしょう。提携先が既に1,000件あり、今後のステーブルコインの規制緩和が追い風になる可能性あり。

メンバー ★★★(3.0)

Founder兼CEOのBen Leventhal氏は飲食業界に広範なネットワークを有し、「Resy」をAmerican Expressへ売却した成功実績があります。VPのMaura McCagh氏もCoinbaseやDeutsche Bankで事業戦略・金融分野において豊富な経験を持ち、信頼性が非常に高いチームと評価できます。



# 4月週次レポート掲載 新規銘柄 継続分析ガイド

## 『大穴：新規銘柄』発掘ガイド 4/30

2025年4月1日から4月30日までの期間において、CMCで新規リストされ、時価総額ランク50位以下の『大穴：新規銘柄』の月末時点での経過調査となります。

### CMC新規リスト銘柄

配信日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格 (掲載~4/30比較)
4/18	#179 → #193	 <b>Babylon</b>	Bitcoin Ecosystem	¥28,562,733,067	¥12.45 ▲3.14%

#### Babylon : BABY

##### 注目ポイント：BTCステーキング型L1が本格始動

4月第4週のBabylonでは、Nexus Mutual(分散型保険プロトコル)との提携による悪意や技術的エラーによるペナルティからの保護機能の導入や、BitGo・Anchorageとのカスタディ連携強化、Suiとのネットワーク統合計画が進展。特に、機関投資家向けインフラの整備とステーキング再開により、中長期でBABYの需要押上げが期待される。一方、短期的にはTVL減と利確売りの影響で需給改善効果は限定的。



## 引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap : <https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp : <https://www.coincarp.com/>
- Messari : <https://messari.io/>
- TokenInsight : <https://tokeninsight.com/>

## 注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。

レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト：<https://tsudo-i-platform.co.jp/>